



最新情報は、HPをご覧ください

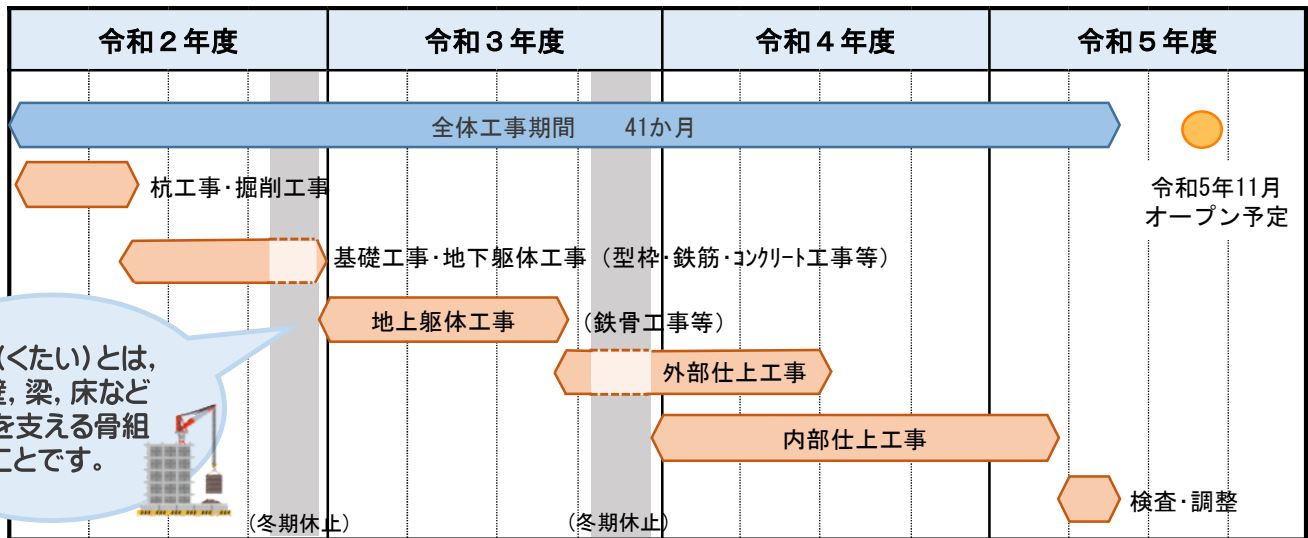
発行・編集 旭川市庁舎建設課
公共建築課
tel:25-7597
choshakensetsu@city.asahikawa.lg.jp

旭川市役所は、令和5年度に新庁舎へと生まれ変わります

旭川市役所の新庁舎建設が令和2年4月から始まりました。
市民の皆さんの暮らしを支える新しい庁舎の建設工事に関する情報を「新庁舎建設NEWS」として皆さんにお伝えしていきます。

新庁舎建設工事のスケジュール

新庁舎の建設工事は、令和2年4月から令和5年8月までの41か月を予定しています。令和2年度は、杭工事や基礎工事のほか、地下部分の工事を行います。令和3年度からは地上部分の工事が始まり、令和4年の夏には外壁工事が完了します。新庁舎のオープンは、令和5年11月の予定です。



躯体(くたい)とは、柱、壁、梁、床など建物を支える骨組みのことです。

建設工事の豆知識

杭とは・・・

建物の重さを地中深くの頑丈な地盤で支えるための基礎の一部です。杭によりしっかりと建物を支えます。

5月中旬からの杭工事では、直径50㍉～90㍉の杭106本を地下14.5㍍の深さまで埋め込みます。



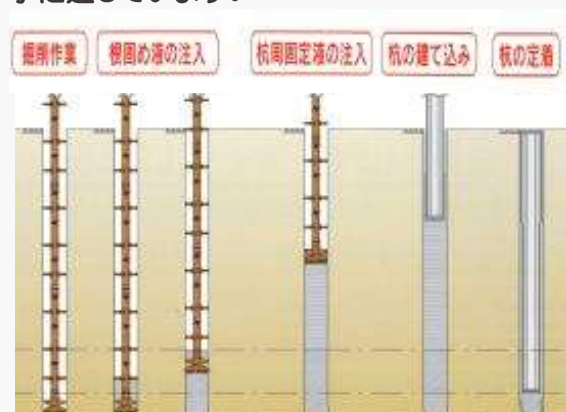
直径50㍉～90㍉の既製コンクリート杭



掘削作業で使用する掘削機(オーガ)

Q 杭はどうやって埋め込むの？

A あらかじめ掘削機(オーガ)で穴を掘り、根固め液(杭と地盤を一体化させるためのもの)を流し込みます。そこに工場で製作した杭を挿入し、定着させます。この工法は、騒音、振動が少ないため、市街地での工事に適しています。



工事現場日記

令和2年4月17日(金)



新庁舎建設工事範囲への安全フェンス設置が始まりました。

令和2年4月30日(木)



地下駐車場の上に仮設事務所と資材置き場を作っています。鉄骨等で補強することで地下駐車場の安全性を確保しています。

令和2年5月8日(金)



新庁舎の基礎となる杭を埋めるため、機械が設置されました。

令和2年5月18日(月)



一日5本〜6本ずつ杭を打ち込んでいます。大型クレーンを使用する大迫力の工事です。

建設工事範囲に高さ2mの安全フェンスを設置しました。そのため、総合庁舎の市民駐車場の縮小や敷地内の通行制限などの影響があります。

また、永隆橋通は、歩道幅が減少するほか、大型の工事用車両が出入りします。安全に配慮し作業を進めてまいります。安全に配慮し作業を進めてまいります。工事範囲周辺を通行する際には、十分ご注意ください。



一部見学窓設置

安全フェンスには、フェンス内の様子を確認できる見学窓を設置しています。普段見ることのできない建設工事の様子を是非ご覧ください。

